



10月23日にはセンター過去最高量となる8,627ケースが出荷される。

過去最速突破!突き進む「白神ねぎ」! 「白神ねぎ」20億円販売達成プロジェクト

「白神ねぎ」の年間販売額が10月21日に、6年連続10億円販売を達成しました。これまで最も早く達成した、過去最高販売額達成年度の一昨年より10日早い達成となります。
 営農企画課佐藤課長補佐は「これまでの部会員が積み上げてきた白神ねぎブランド価値がコロナ禍でも特段の影響を受けることなく信頼されている結果。今後は降雪による掘り残しが無いよう計画的に取り組んでもらいたい。」と話し、販売課清水考査役は「焦らず的確な出荷調整をしてもらいA品率の更なる向上に努め、単価維持を図ってもらいたい」と話します。
 健康管理にも十分注意しながら達成しましょう! 販売額18億円!!



一頭一頭子牛を審査する審査員



子牛品評会 加藤さん 小森さんが最上位賞

畜産部会

畜産部会(小山吉一部会長)は10月21日に第20回子牛品評会を開催すると、今年生まれた子牛19頭が出陳され、雌の部(6頭)、去勢の部(13頭)の2部門で優劣を競い合い、全国和牛登録協会秋田県支部加藤晃局長など関係機関が慎重に審査しました。

雌の部では「体上線と体下線が美しく、最も雌らしいバランスの取れた体型である」などとして、加藤尚子さんが出陳した「なつこ」が最上位の優等賞に、去勢の部では、小森正博さんの「福乃花」が最上位の壱等賞に輝きました。

雌の部の優等賞に輝いた加藤さんは「放牧牛で大自然の中で自由にたくましく育った結果が受賞に結びついた。これからも大事に育てていきたい」と笑顔で喜びを語りました。

その他の上位入賞は次のとおり。

【雌の部】

- ▽壱等賞=小森正博(いとな)
- ▽弐等賞=市川秀人(あきのゆり)、加藤尚子(ふくこ)
- ▽参等賞=小森正博(ゆたか)、市川秀人(さくら)
- ▽藤里町長賞=加藤尚子(なつこ)



雌の部優等賞の「なつこ」と加藤さん

【去勢の部】

- ▽弐等賞=加藤尚子(礼美花久)、小森正博(清)
- ▽参等賞=佐々木弘(清秀)、桂田安太郎(安清)
小山吉一(礼美華1)
- ▽能代市長賞=佐々木弘(清秀)
- ▽藤里町長賞=桂田安太郎(松安糸)

悪質商法にだまされないで!!

のしろ東支店

のしろ東支店と能代市防犯協会東能代支部は10月19日に秋の防犯キャンペーンを行いました。支店前で防犯協会と能代警察署員と一緒に、呼びかけに合わせて来店者に対し特殊詐欺の被害防止等が記載されたチラシとエコバックなどの啓発品を配りながら注意を呼び掛けました。

同支店高橋支店長は「金融窓口業務でも、利用者と積極的に対話し接することで、不審な点に気づき、特殊詐欺からの被害を未然に防ぐことができる。組合員・利用者と一緒に積極的に対話しながら業務に努め、地域の拠点として安心して利用してもらえる支店づくりをしていきたい」と話します。



支店前で啓発運動を行う支店職員



会場内では町の園児や児童・生徒らの作品も展示されていました。

藤里町の文化と秋の美りを堪能 藤里営農センター、藤里支店

例年は2日間行われる「藤里町民祭」も、今年はコロナ禍の影響により規模を縮小し10月24日のみの開催となりましたが、藤里町民体育館と町三世代交流館の各会場では農産物展示即売会や町内の生涯学習グループ、商工業者の製品や商品などが展示され、来場者の興味を引き付けていました。

藤里営農センターと藤里支店の職員も会場にブースを設けて町民との交流を深めました。藤里支店須原係長は「コロナ禍の影響で縮小開催だが年に一度のお祭り。町民の方々と業務以外で接する貴重な機会なので親睦を深めたい。」と話し、積極的に来場者と交流を図っていました。

心豊かな地域作りを目指して

JA助け合い組織協議会、生活課

JA助け合い組織協議会(藤田ミヤ子会長)ニツ井支部の「たんぼぼ会」は10月22日にニツ井町荷上場地区で、地域住民を交えたミニディサービスを行いました。

高齢化社会に対応するため、ふれあい助け合い活動を通じて心豊かな地域作りを推進しており、当日はまだまだ元気な地域住民の方々20人が参加してくれました。

藤田ミヤ子会長は「地域住民同士のふれあいを大切に、今日は、大いに笑って楽しみましょう。」とあいさつ。

臈下運動の一環として「ボケます小唄」など歌ったあと、タオル体操で腕を上げたり、足を伸ばしたりと全身を使った軽運動で心も体もリフレッシュしました。



最後には綺麗なフラワーアレンジメントを楽しみました。



WEB注文サイトについて共通認識を図る

慣れたら簡単!肥料農薬WEB注文システム

経済部×営農部

農家組合員の生産コスト低減を大前提に、高品質で低価格な「予約注文の有利性」を農家組合員にご理解頂き、ご利用頂くため「営農資材予約業務プロジェクト」を10月16日に立ち上げ、注文受付率早期100%達成を申し合わせました。

プロジェクトでは9月に運用開始した「営農資材WEB注文サイト」の急速的な普及も目標に掲げ、同サイト利用で予定当用価格から12%程度値引かれるほか、秋田県版農業経営管理支援システムに反映され税務申告等に係る労力の大幅軽減化を全面的に周知していきます。

丑沢経済課長は「農家組合員の所得増大のために、生産コストの低減は必須事項。予約受注業務を効率化し、仕入価格を最大限引き下げることで農家組合員の皆様に還元させたい。その為にも、農家組合員の皆様にはWEB注文サイトを積極的にご利用頂きたい。」と話します。

当組合HPからもログイン可能です。操作方法等のお問い合わせは経済課(55-0777)へ。

